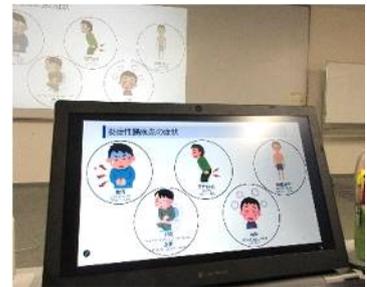


● 令和6年度 第7回 講演会 『子どもの慢性消化器疾患』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 土居 岳彦先生  
助 言：同小児科 藤川 皓基先生  
実施日時：令和6年11月13日（水）14：00～16：20  
会 場：ハイブリッド開催（ZOOM・呉市保健所 東保健センター）  
対 象 者：消化器疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）のこどもの家族、  
支援関係者、関心のある方  
参 加 者：家族6名、本人1名、保健師1名、養護教諭1名、  
院内学級教諭1名（計10名） 担当：呉市

● 講演内容

- ① 消化器の構造と免疫機構
  - ・消化管の構造・栄養の吸収・腸管の免疫
- ② 小児の炎症性腸疾患
  - ・クローン病と潰瘍性大腸炎
- ③ 炎症性腸疾患の検査
  - ・内視鏡検査・血液検査所見の考え方
  - ・新規診断マーカー：便中カルプロテクチンと LRG
- ④ 炎症性腸疾患の治療
  - ・TNF $\alpha$ 阻害薬（ヒュミラとレミケード）・その他の生物学的製剤と JAK 阻害薬



● アンケート結果より

<参加された方の感想>

「講演内容は大変具体的で治療薬のことなどお伝えいただき、ありがとうございました」  
「病気について知らない事ばかりだったので、講演会を聞いて良かったです」  
「次また講演会が開催された際は、ぜひ会場まで足を運びたいと思います」  
「内容が難しい所もありましたが、あらためて病気のことについて知ることができました。  
また交流会は悩みを聞いていただいたり、情報交換をしたり、とても有意義な時間でした」  
「初めて炎症性腸疾患のお子さんを持つ親御さんの話を聞いて、思いを共有出来た事で  
少し気持ちが楽になりました」

● 相談員より一言

今年度2回目のハイブリッド開催となりました。講師からは病態生理、疾患や治療、新薬などに関するお話と事前質問に対応した説明もありました。後半の現地参加者での交流会では、参加者よりの質問への講師からのお答えと、ご家族それぞれがしっかりと意見交換をして頂けて良い会になりました。